



鹿児島県の肉用鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザ発生！ （国内家きん21例目）

所在地：鹿児島県霧島市

飼養状況：約12万羽
（肉用鶏）

経緯：

（1）1月6日（月）

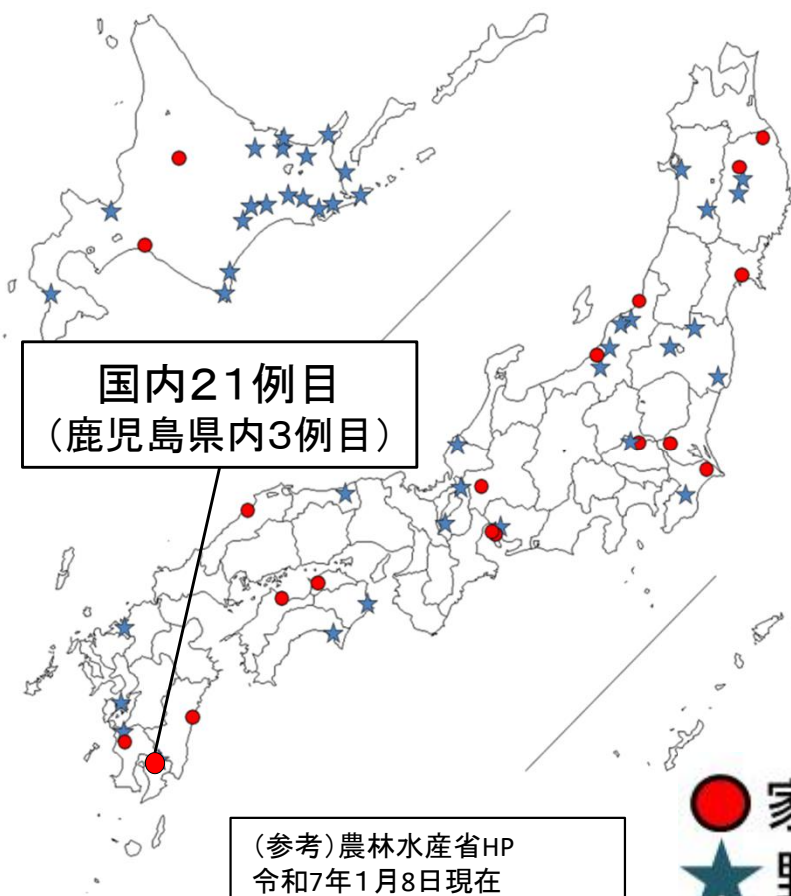
鹿児島県霧島市の農場から
死亡羽数増加の通報

（2）同日

鳥インフルエンザの簡易
検査陽性を確認

（3）1月7日（火）

遺伝子検査の結果、
高病原性鳥インフルエンザの
疑似患畜であることを確認



衛生管理・防疫対策を徹底し、農場を鳥インフルエンザから守りましょう！！

- ❑ 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等
- ❑ 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- ❑ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等
- ❑ 家きん舎に立ち入る者の手指消毒等
- ❑ 家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
- ❑ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- ❑ ねずみ及び害虫の駆除

千葉県南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※急性悪性家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ等）の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。



鳥インフルエンザ対策のポイント



(農林水産省HPより)

高病原性鳥インフルエンザについては、今シーズンはこれまでに14道県21事例が発生し約330万羽が殺処分の対象となっています。
特に昨年末以降、100万羽を超える大規模農場を含め、全国の広い地域で6件の発生が相次いでおり発生リスクが高まっています。

下記の事項に留意をお願いします！

①危機感の共有

- ✓1月は過去にも発生が多いトップシーズンです。
- ✓「いつ自分のところに来ても全くおかしくない」という危機感をもった衛生対策が重要です。

②飼養衛生管理の「隙」を埋める対策

- ✓野鳥・野生動物の侵入・誘因防止に加えて、農場外関係者を含めた例外のない消毒の徹底、鶏舎への塵埃侵入防止対策(鶏舎周辺の散水・消毒、フィルターや噴霧器の設置等)の実施をお願いします。

ウイルスが侵入し得る「隙」の例

金網や防鳥ネット等の破損



集卵ベルトや鶏糞排出口の隙間



堆肥舎での卵や廃鶏の放置による野鳥の誘引



今シーズンの事例を踏まえた対策

外部作業者の消毒の徹底



細霧装置の設置



入気口フィルターの設置



③早期通報の徹底

- ✓特定症状に限らず、異状が確認された場合の早期通報の徹底をお願いします。
- ※同一の家きん舎において、1日の家きんの死亡率が過去21日間の平均の2倍以上となってから1日～数日程度遅れての通報と疑われる事例が多くなっています。通報の遅れは地域のまん延リスクの増大に繋がるため少しでも異状を感じたら通報を！